

情報交差点・心と心の交わり

# あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

**西会津町へ行ってきました！！**

## 令和7年度「体験の翼」冬季交流・修学旅行

2月6日（金）～9日（月）の日程で、大宜味村交流団（小学6年児童19名、引率7名、添乗員1名）が福島県西会津町を訪れ、冬季交流を実施しました。

初日は朝早くからの出発式に参加し、そこからバス、飛行機、新幹線等の移動で西会津町に着く頃には日も落ちて児童達に疲れも見えましたが、西会津町児童との久しぶりの再開に疲れを忘れ大喜びしていました。2日目は鶴ヶ城（会津若松市）見学や、午後は雪遊びを楽しみ、雪国ならではの体験をすることができ、3日目の雪国まつりでは児童達によるエイサーを会場で堂々と披露し会場内を盛り上げました。午後にはお別れ式を行い、別れを惜しみながら東京へ移動し、翌日9日に児童達はお土産と一緒に、沖縄とは違う沢山の貴重な経験を大宜味村へ持ち帰りました。

西会津町との大切な出会い、そして西会津で過ごしたこの貴重な経験が児童のみなさんにとって将来の糧となり、今後の活躍を期待しております。

次ページに交流の様子を写真で紹介していますので、交流団の楽しい4日間をご覧ください。



### ともに食べ、ともに遊び、ともに楽しむ 大宜味小ふれあい給食

1月29日（木）、大宜味小学校において5年生とこども園でいご組と一緒に給食を楽しむふれあい給食が行われました。

初めての学校給食にドキドキのいご組さん。この日のメニューはタコライス、アーサ汁、シークワサーゼリー。でいご組さんたちの給食は5年生が配ぜんしてくれました。

準備ができたらみんなでいただきます!! ペアになったお兄さんお姉さんに牛乳パックの開け方を教えてもらったり、楽しくおしゃべりしながら食べたり楽しい給食の時間が過ぎていきました。

本当によく食べるでいご組さん。おかわりもたくさんし、でいご組用の給食の缶だけでなく、5年生の給食の缶も空になるまで食べました。

ふれあい給食の中では楽しませ上手の5年生が考えてくれたなぞなぞや一発芸などのお楽しみも…。

最後はナルトダンスや横揺れダンスをして大いに盛り上がりました。

食欲旺盛でパワフルなでいご組さんたちに圧倒されながらも5年生たちは上級生らしく頼もしい姿を見せ、ともに楽しむことのできたふれあい給食となりました。



### 小学校って楽しいよ♪いろいろなことに挑戦 大宜味小新一年生体験入学

2月25日（水）、大宜味小学校において1年生がこども園のいご組19名を招き、「おまねきかいしんいちねんせいいたいけんにゆうがく」が行われました。

まずは音読や歌、鍵盤ハーモニカの演奏で、でいご組さんを歓迎。1年生になるといろいろなことができるようになる姿を見せてくれました。

次にペアになってお勉強。お兄さん、お姉さんから鉛筆やクーピーの使い方を教わり、線つなぎや色塗りに挑戦しました。

他にもランドセル体験や1年生がでいご組さんのために手づくりの品物をたくさん準備したお店屋さんごっこ、ちょっとだけ体操などたくさんの体験をしニコニコ笑顔のいご組さん。「1年生と遊べて楽しかった」、「線つなぎをするのが楽しかった」など感想も発表し大満足の様子でした。

1年生にたくさんのお話を教わったでいご組さん。4月の入学がより楽しみになりました。



### 児童生徒の活躍を表彰 大宜味村教育の日児童生徒表彰と教育講演会

2月1日（日）、大宜味小・中学校体育館において令和7年度大宜味村 教育の日 児童生徒表彰と教育講演会が行われました。

児童生徒表彰は文化部門、スポーツ部門、善行及びボランティア部門の3つの表彰があり、文化部門は作文や絵画など、スポーツ部門は部活動などで国や県、地区規模の審査会やコンクール、大会等で優秀な成績を収めた個人及び団体を表彰します。

善行及びボランティア部門は地道な活動を継続的にやり、他の児童・生徒等の模範となる者、環境美化活動や福祉活動、伝統・文化の継承活動、奉仕活動、地域社会における活動等を継続的に実践するなど、社会の一員として社会のために貢献しようとした児童生徒に贈られるものです。

今回は72名の児童生徒が表彰対象となり、各部門の児童生徒代表の5名が教育長から表彰状を授与されました（対象者が多かったため、他の受賞者は各教室にて伝達されています）。

児童生徒表彰後には講師に沖縄国際大学の照屋翔太先生を招き「変わる学校、地域の役割～「地域とともにある学校」の実現に向けて～」と題し教育講演会が行われました。



講演会では照屋先生が事例をあげながら、コミュニティ・スクール（CS）とは何か、CSの導入に向け地域がどのような意識を持つか考えるきっかけを作ってくれました。

講演会後は小中の授業参観があり、小学校では時間走が行われました。時間走の結果については小学校八校のきらめき第35号に掲載されていますのでご覧ください。

### 班で力を合わせて問題に挑む… 大宜味中学校 Kahoot! 大会

2月25日（水）、大宜味中学校においてKahoot!（カフト）大会が行われました。

カフトとはゲーム感覚で学習できるもので4択クイズに参加者がタブレット端末やパソコンなどでリアルタイムに参加し速さと正確さを競い合うものです。

今回の問題は全ての問題を生徒が作成。1年生から3年生までに習う範囲から出題されるので全学年の力を合わせて答えます。生徒たちは1チーム3～4名の班を作り、国語、数学、理科、社会、英語からふんだんに出された問題に挑戦しました。問題に答えていくと、より速く正確に答えたチームに点数がプラスされ、勝ち上がった上位3チームと敗者復活戦で1位になったチームが決勝戦へ。教師選抜チームも交え5チームで頂上決戦が行われました。決勝戦は抜きつ、抜かれつの接戦。そして、見事そらチームが優勝しました!! 学年を越えみんなで協力し、楽しく学ぶことができた大会となりました。



### バショウから紙を作ろう！ぶながやの里生涯学習講座⑥紙漉き研修

2月21日（土）、旧大宜味小学校家庭科室においてぶながやの里生涯学習講座⑥「バショウを使って紙を作ろう！」が行われました。

今回はバショウから紙ができることを知ってもらうとともに、大宜味小で行っている卒業証書作成の時に一緒に指導を手伝ってくれる仲間づくりしようと目論み研修を行いました。

初めにバショウを切り倒し、緑の皮を剥いだ後、細かく切っていきます。切ったバショウにセスキソーダを加え煮熟。煮込んだバショウが指でつぶれるくらい柔らかくになったら、水洗いし、ミキサーで攪拌します。これで紙の原料が完成。そしていよいよ紙漉きとなります。



参加者たちはまず A4 サイズの紙づくりに挑戦。2枚できたところでハガキサイズや B4 サイズの紙にも挑みました。簾桁を入れるタイミングやその時の漉き舟の状態でもできあがり差がでるため、参加者たちは納得がいく紙ができるまで何度もやり直ししながら紙漉きを行いました。

講座を終え、参加者からは「バショウから紙を作るのは初めての体験だったけれど楽しかった」、「勉強になった」、「もっと紙漉きの楽しさを知ってほしい」などの声があがりました。

大変な作業ではありましたが、みんなで楽しみながら学ぶことができました。



### マギースープを制するのはどの学年？ 大小ジャガイモ収穫

2月24日（火）、大宜味小学校においてジャガイモ収穫が行われました。

昨年の11月4日に村老人会のエキスパートたちの教えを得て植えたジャガイモ。それから約3か月半。待ちに待った収穫です。

収穫の前に新城寛成さんから緑色になったイモはソラニンという毒があり、ネズミも食べないようなイモなので収穫しても食べるイモとは別にするように注意がされ、みんなで1つ1つしっかり確認しながらの収穫となりました。

一口サイズの小さいイモから大きなイモまでたくさんのイモが収穫できました。

最後に各学年で採れたイモの中で1番大きい（重い）イモを競うマギースープが行われ、750gのイモを掘り起こした4年生が見事優勝となりました。

今年はあまり大きくならなかったようですが、どの学年もたくさんのイモを収穫。収穫されたイモはその後各自持ち帰り、お家で美味しくいただいたそうです。



### 台湾の小学生と英語で交流 大小5年生台湾交流

2月24日（火）、大宜味小学校5年生が台湾の金山小学校とオンライン交流体験を行いました。

距離は近くとも1時間の時差がある台湾。当初予定していた時間より1時間遅れで交流が開始されました。今回はお互い英語を使って交流。台湾の児童から好きな色や兄弟姉妹の人数について質問があり、5年生も英語やジェスチャーを使って答えました。

大宜味小5年生からは沖縄県や大宜味村についてスライドを使って紹介。沖縄県の位置や気候、美味しい食べ物、大宜味村についても特産物のシークワサーの特徴や、ヤンバルクイナなどの生きものもすんでいて自然豊かな村であることを伝えました。

紹介の中ではクイズもあり、台湾の児童たちも楽しく大宜味村のことを学びました。

たどたどしくもお互いの共通語である英語を使い、交流をした5年生。共通語の大切さも学べた交流会となりました。



### 図書室情報 No.79 2026年（令和8年）3月

大宜味村図書室（旧議会棟）  
大宜味村字大兼久 157 番地 0980-44-3009

### 新着図書 リクエストありがとうございます

第174回芥川賞&第47回野間文芸新人賞受賞作！  
『時の家』鳥山まこと / 著・新潮社

第174回芥川賞受賞作！  
『叫び』富山丑雄 / 著・新潮社

第174回直木賞受賞作！  
『カフェーの帰り道』島津輝 / 著・東京創元社

『もっとうまくなりたい！わたしのスマホ写真』磯田裕子 / 漫画・技術評論社

『一週間で勝手に目がよくなる体になるすごい方法』

平賀広貴 / 著・日本文芸社

『ドクトルきよしの大ピンチいきなりかい』長田清 / 著・遠見書房



### 3月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

### 2月の統計（2/20まで）

- 来室者数…のべ58人
- 貸出冊数…92冊
- 現在の蔵書数…9,558冊

### 利用状況累計（2019年9月～）

- 来室者数…のべ4,805人
- 貸出冊数…7,701冊
- 登録者数…203人

### お知らせ

今年度の図書リクエスト受付は終了いたしました。リクエスト希望の方は、来年度の受付開始までしばらくお待ちください。



政信教育長のあじま～コラム

「勇気」

現役時代、子ども達への読み聞かせに使っていた絵本の一つに「勇気」というタイトルのものがあります。先だってその本を読み返してみたくなり、手に取ってみると子どもからの手紙がいくつかは中に挟まれていました。その手紙は「校長先生の話聞いて、いろいろな勇気があるんだなと思いました。そして、私にも簡単にできる勇気はあることがわかりました。これからは、勇気をいっぱい出したいと思います」という内容でした。他にも「ゆうきをいっぱいしたよ。ぼくもいっぱいゆうきをだしたいな」という、かわいらしいものもありました（ほとんどの担任が講話の後、学級でふりかえりを行っていたので、毎回、子どもから感想をいただいていた）。

私たちは何らかの成功や自己成長を夢見て日々を過ごしています。しかし、思ったように実現できないのが現実だと思います。行動を起こさなければ前に進めない、その行動を起こすために「勇気」が必要な場面に多々出合います。勇気を出して人前で発言したとか言いたいことを言ったとか・・・ドキドキしたけどその後の達成感が自信となり、その自信が成長や成功につながっていくものと思います。いきなり大きなことではなく、日常生活の中で小さな勇気を見つけ行動する、そして、小さな成功体験を積み重ねていくことによって自信がいてくるものと思います。

自分に自信がある人は、行動的に見えます。あらゆる場で勇気を持って行動しているような気がします。脳科学分野の研究によると、勇気を出して達成した成功体験は、たとえ個人的な小さなことであっても、他の課題にも適応できるようになるのだそうです。ですから、子ども達には小さな勇気をあらゆる場面で発揮して、少しずつ自己実現を図り成長して欲しいと願っています。

今月の生きもの



モクズガニ：モクズガニ科

ど～も♪私、モクズガニで～す。

普段は川の中流～上流にいますが、晩秋～冬に産卵のために川を下りることから「ウリガイ」って呼ばれています。みなさんにはそっちの方が馴染みがあるかな？

私の大きな特徴ははさみに毛があること。オスの方が毛深くフサフサしています。甲羅の幅が10cm程度になり昔から食用とされていました。和製上海ガニと言われるくらい美味しいみたいだけど、生息数も少なくなっちゃっうし、あまり食べてほしくないなあって思う今日この頃です。

3月の行事予定

- 2日（月）区長会
- 4日（水）県立高校入試①  
（中）小6体験入学
- 5日（木）県立高校入試②
- 7日（土）（中）卒業式
- 13日（金）（園）修了式（5歳児）



- 17日（火）県立高校合格発表
- 18日（水）（小）卒業式
- 19日（木）（小中）修了式 離任式 PTSA 送別会
- 20日（金）春分の日
- 24日（火）（園）修了式（0～4歳児）
- 26日（木）定例教育委員会会議
- 31日（火）退職者辞令交付式